

大江山地区における新たな移動手段構築に向けた検討状況について

1. 経緯・目的

大江山地区に立地する社会福祉法人いなほの郷福社会より、地域貢献として地域へ車両を貸し出すことができるとの申し出があった。

大江山地区コミュニティ協議会が中心となり、地域のボランティアが運転する道路運送法上の「許可・登録を要しない運送」、いわゆる「互助による輸送」としての運行を目指すこととした。

大江山地区大淵地域をモデルに既存の公共交通との役割分担を図りながら、日常の買い物に困っている方を対象にスーパーへの送迎支援について検討している。

2. 体験乗車会（社会実験）実施概要

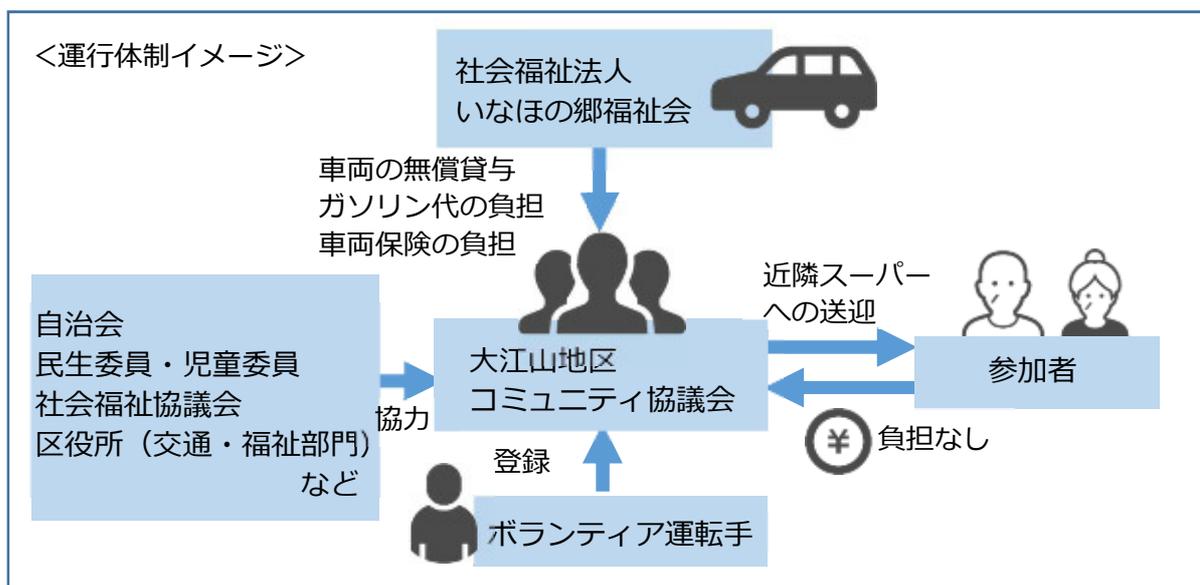
(1) 運行日時：3月の週1回を目安に4日間運行（1日1便）

※詳細な日時は運転手、参加者と調整

(2) 運行経路：①大淵地区内の参加者各宅付近にて乗車

②ウオロク中野山店または清水フード東中野山店

③大淵地区内の参加者各宅付近にて降車



(3) 運行主体：大江山地区コミュニティ協議会

(4) 車 両：日産キャラバン（いなほの郷福社会より貸与）
乗車定員3名（運転手除く）

(5) 運 転 手：ボランティア運転手3名

(6) 参 加 者：介助がなくともひとりで買い物ができるが、運転が難しくなってきたなど日常の買い物に困っている方
12名(事前希望制)

⇒ 課題を整理し、運行方法などの改善を行い、本格運行につなげる